

「平針木遣と歌舞伎」

平針木遣音頭をご存知でしょうか？

平針木遣音頭は名古屋城築城(1610年)の際の木遣音頭を伝承したものとされています。木遣は元来神社仏閣等の造営工事の際の労働作業歌であったものが家屋の新築は慶事であることから後に祝言歌としても伝承され今日に至っています。戦後から続く平針木遣音頭保存会の尽力により昭和31年には名古屋市無形民俗文化財に指定され、現在に至るまで地道な活動が続けられています。

今回、保存会の方々による木遣を実際に聞いていただくとともに、平針木遣のうち、京木遣唄と称されるものについてお話します。

この京木遣は江戸時代一番人気の高かった歌舞伎・浄瑠璃作品を取り込んだ唄が中心です。今回は、特に人気の高かった「二十四孝」「太閤記(太功記)」などを取り上げ、木遣が取り込まれた場面をビデオで見ながら、木遣唄との関わりをお話します。



写真:「名古屋城本丸御殿復元工事(表書院)の上棟記念式典における棟木の木曳き」

日 程:平成28年**6月25日(土)10時～12時**(開場9時半)

場 所:東海学園大学名古屋キャンパス311教室(住所:名古屋市天白区中平2-901)

講 師:安田 文吉(東海学園大学 人文学部特任教授)

村瀬 進(名古屋市無形民俗文化財指定 平針木遣保存会 会長)

定 員:先着300名

受講料:無料(全席自由)

<申込方法>必要事項を明記の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

(メール) ext@tokaigakuen-u.ac.jp

(FAX) 052-801-1292

キ リ ト リ

東海学園大学公開講座「平針木遣と歌舞伎」申込用紙(申込期限:6月22日)

名 前	連絡先
(ふりがな)	
(他 名)	

<会場へのアクセス>

会場：東海学園大学 名古屋キャンパス (名古屋市天白区中平2-901)



地下鉄東山線 2分

地下鉄鶴舞線 21分

地下鉄原駅より

・徒歩15分

・市バスに乗り換え

「平針南住宅」下車、徒歩約3分

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

